

抹茶碗と

棗展

Japanese Tea bowl and container for macha Exhibition,
at Midorigaoka Art Museum in Nara, Japan
April 14th → June 30th, 2019

「茶人の心を奪う名工の抹茶碗と棗」
利休の教え、おもてなしの心を茶道具の名工たちが形で伝える日本の美。



「秋草棗」(一后一兆作)



2019年4月14日～6月30日まで

- 開館日：水・木・土・日・曜日 11:00～16:00 (入館は15時30分まで)
- 休館日：月・火・金曜日
- 入場無料
- 会場：緑ヶ丘美術館 ↓ 〒630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘 273-110
- URL: <http://mam-museum.com> ・お問い合わせは FAX で: FAX: 0743-557880

大樋焼茶碗 (開発文明作)

MAM

Midorigaoka Art Museum

緑ヶ丘美術館

〒630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘 2731-10

Japanese Tea bowl and container for macha Exhibition at Midorigaoka Art Museum in Nara, Japan
April 14th → June 30th, 2019



「朱塗桃山棗」(一后一兆作)



「稲束に紅葉 利休棗」(茶平一斎作)



「蜀江小紋雪吹 茶器」(清瀬一光作)



「嵯峨峨棗」(五代川端 近左作)

抹茶碗と棗展

精神世界を振舞う「日本の美」
侘びと寂び、そして粋。

創作物に完成はないという。用の美は、使われし者に出会って初めてその使命たる命を輝かせる。茶の湯の心、日本人の精神世界を形に映す抹茶碗と棗。何かが心に染みわたる。ご高覧あれ。



「京焼油滴天目釉茶碗」(清水 保孝作)



「黒楽茶碗」(四代 樂一入作)



「絵志野茶碗」(林正太郎作)



「織部茶碗」(金本卓也作)



Midorigaoka Art Museum

緑ヶ丘美術館

〒630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘 2731-10

▼アクセス: 美術館には駐車場がございませんので、お越しの際は公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

◎公共交通機関: (地下鉄中央線・近鉄けいはんな線) または (近鉄生駒線) (近鉄奈良線) で『生駒駅』下車。生駒駅「南口1番のりば」より奈良交通バス『中菜畑二丁目行き』バス乗車→「湯船バス停」下車、徒歩3分。

本展では、茶の湯を彩る品格のある抹茶碗と漆芸棗の名品を展示いたします。いずれも著名作家による優れた技法と個性豊かな感性で仕上げられた逸品です。江戸期から現代作家まで、時を経て伝承されてきた日本の様式、おもてなしに込めた美の世界をご高覧いただけます。作品展の紹介ビデオ<茶人の心を奪う名工の抹茶碗と棗>も随時上映しております。ご来館をお待ちしております。

